

株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日（中間配当を行う場合） ※なお、当期は中間配当を行っておりません。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711（通話料無料）
公告方法	電子公告 公告掲載URL http://www.mapple.co.jp/ （ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に公告いたします）
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所
証券コード	9475



株式会社 昭文社

〒102-8238 東京都千代田区麹町三丁目1番地

<http://www.mapple.co.jp/>

お知らせ

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株主の皆さまへ

第54期

中間報告書

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで



海外版マップルリンク

ガイドブックの情報をスマートフォンで持ち歩く
読者限定の無料スマートフォンアプリ



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

株式会社 昭文社

株主の皆さまへ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の第54期の第2四半期累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）の事業活動をご報告申し上げます。



代表取締役社長
黒田 茂夫

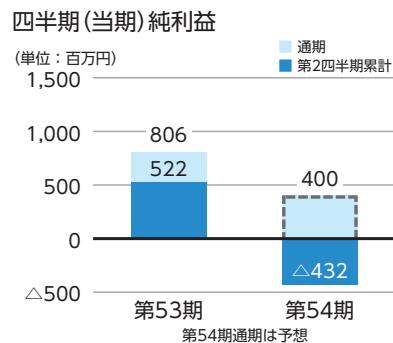
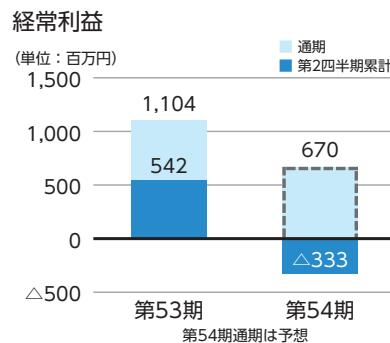
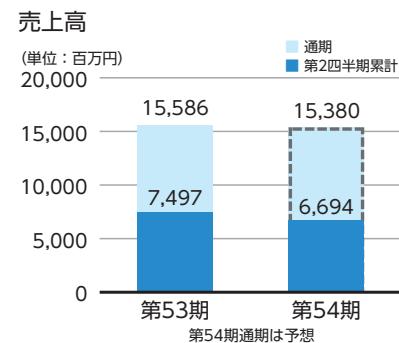
当第2四半期連結累計期間の業績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要に加え、堅調な消費行動によって緩やかな持ち直し状態にあるものの、依然として欧州における債務危機問題や中国における景気減速の影響もあり、景気下押しリスクも存在した状態となっております。

出版事業においては市販出版物、特に地図商品の売上が大きく減少するとともに返品も大幅に増加したことによって、また電子事業においては当初想定どおりの実績は獲得できたものの、前年同期のような大型案件の獲得がなかったこともあり、売上高合計は前年同期に比べ10.7%減少し、66億94百万円となりました。

損益面では、出版事業における返品増加による影響に加え、新海外ガイドシリーズ『トラベルデイズ』の創刊に伴う原価高の影響やメンテナンス費用の増加もあり、営業損失は3億68百万円（前年同期は営業利益5億38百万円）、経常損失は3億33百万円（前年同期は経常利益5億42百万円）、四半期純損失は4億32百万円（前年同期は四半期純利益5億22百万円）となりました。

連結業績ハイライト



通期の業績の見通し

当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、出版事業における売上高減少やメンテナンス費用増加の影響によって、売上高、利益ともに当初予想を大幅に下回る結果となりました。しかし一方で下半期においては、出版事業は引き続き厳しい状況が続くものと想定されますが、電子事業における受注が好調に推移していることから当初予想よりも売上高の増加が見込まれるものと判断しております。

また、原価面においては出版物の売上減少を受け、より一層の原価削減を行うとともに、出版計画の見直しも実施してまいります。

さらに今期の課題であるプロモーション活動においてもその効果等を良く検討したうえで、経費の削減に努めることといたします。これにより下期においては、当初予想を上回る利益を確保できるものと見込み、平成24年10月30日、通期の連結業績予想を以下のとおり変更いたしました。

通期の連結業績予想

	通期業績予想	当初予想
売上高	153億80百万円	(157億90百万円)
営業利益	6億10百万円	(7億60百万円)
経常利益	6億70百万円	(7億60百万円)
当期純利益	4億00百万円	(5億00百万円)

当社グループは、旅行や観光事業の分野に貢献し、人々を明るく元気にする情報提供企業として飛躍を続けてまいります。株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

セグメント別の概況

※各セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高を含めております。

電子事業

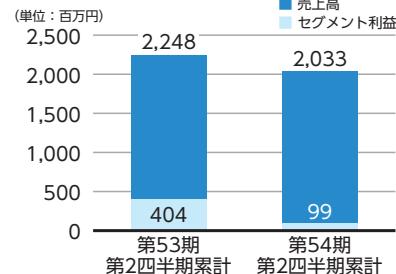
- 売上高 **20億33百万円** (前年同期比 9.6%減)
- セグメント利益 **99百万円** (前年同期比75.4%減)

電子事業におきましては、前連結会計年度に引き続き、ナビゲーション事業におけるPND向けアプリケーションソフト『マップルナビ』の売上が堅調に推移するとともに、6月にはiPhone用カーナビゲーションアプリ『マップルナビS』の販売も実現いたしました。

しかし一方でスマートフォン用アプリケーションの売上が伸び悩むとともに、コンテンツ提供の大型案件が獲得できなかったことや携帯電話におけるコンテンツプロバイダからのロイヤリティ収入が減少したこともあり、電子事業の売上高は、前年同期に比べ2億15百万円減少し、20億33百万円となりました(前年同期比9.6%減)。

損益面では、スマートフォン向けアプリの開発やコンテンツ制作費用の負担減少もありましたが、売上高の減少に加え、メンテナンス作業を前倒しで実施したことによるメンテナンス費用の負担増加とともに、販売費の増加もあり、電子事業におけるセグメント利益は、前年同期と比べ3億5百万円(75.4%)減少し、99百万円となりました。

電子事業の業績



『マップルナビS』



『マップルナビS』のルート案内画面

出版事業

- 売上高 **47億70百万円** (前年同期比 9.8%減)
- セグメント利益 **2億34百万円** (前年同期比70.4%減)

出版事業におきましては、第1四半期に出版したデジタル付録の付いた知的好奇心を満たす新海外ガイドシリーズ『トラベルデイズ』がデジタル付録(『海外版マップルリンク』)の評価も高く好調に推移いたしました。

しかし一方で前期堅調に推移していた地図商品の売上が大幅に減少するとともに、返品も増加する結果となりました。

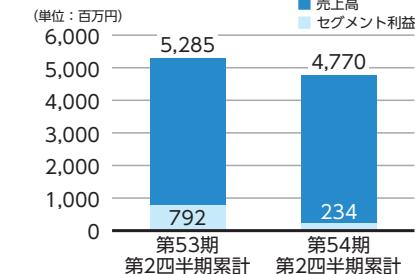
また雑誌においては話題性のある商品として『まっぷるマガジン東京駅』等を新規出版いたしました。前期にあったような新刊シリーズの出版がなかったことにより前年同期に比べ売上高は減少する結果となりました。

特別注文品においても、前期末における受注残の減少が影響し前年同期に比べ売上高は減少いたしました。

これによって出版事業の売上高は47億70百万円と、前年同期を5億15百万円(9.8%)下回る結果となりました。

損益面では、予想を上回った返品の影響や新海外ガイドシリーズ創刊に伴う原価率の上昇、メンテナンス費用の増加の影響もあり、売上原価は売上高減少にもかかわらず前年同期と同じ水準となりました。以上のことから、出版事業のセグメント利益は、前年同期に比べ5億57百万円(70.4%)減少し、2億34百万円となりました。

出版事業の業績



『トラベルデイズ』

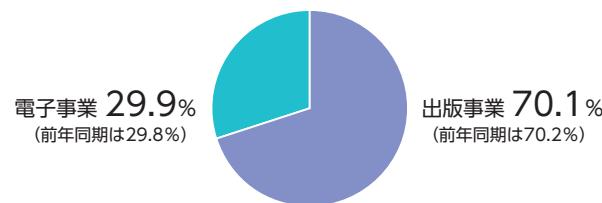


『まっぷるマガジン 東京駅』

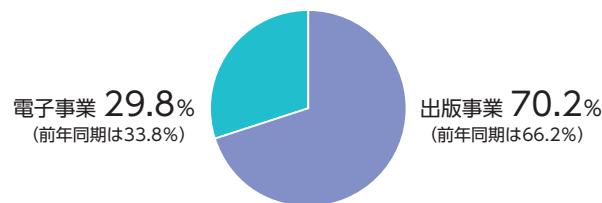


『まっぷるマガジン おとなの旅と宿』

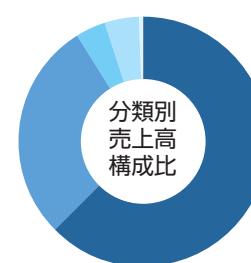
売上高構成比



セグメント利益構成比



分類別売上高



分類	(単位：百万円)		
	53期 第2四半期累計	54期 第2四半期累計	54期 第2四半期構成比
市販出版物	4,696	4,193	62.6%
地図	2,156	1,735	
雑誌	1,936	1,739	
ガイドブック 実用書	591 12	715 3	
電子売上	2,188	1,901	28.4%
特別注文品	344	271	4.1%
広告収入	244	303	4.5%
手数料収入	23	23	0.4%
合計	7,497	6,694	

トピックス

● iPhone向けカーナビゲーションアプリ『マップルナビS』の販売開始

ナビゲーション用地図ソフトウェアの開発・企画制作・販売を行う当社子会社のキャンバスマップル株式会社は、iPhone用本格カーナビゲーションアプリ『マップルナビS』の販売を開始しました。

『マップルナビS』は、聞きやすい音声案内、多彩な目的地検索、視認性の高い地図表現など、本格的なカーナビゲーション機能の搭載はもちろんのこと、全国47都道府県主要部の「ぬけみち」データの収録や『ことりっぷ』、『まっがるマガジン』の電子書籍アプリとの連携も実現しており、見やすさ、使いやすさにとことんこだわった商品です。ダウンロード型のため、通信環境のない場所でも地図表示やルート案内が可能で

独自の商品機能が評価され、販売開始から約2週間で10,000ダウンロードを突破、平成24年7月には「日刊自動車新聞 用品大賞2012」の「ユニーク・アイデア部門賞」を受賞しました。ドライブのサポートにぜひご利用いただきたいアプリです。

● 『山と高原地図』のiPhoneアプリ化

モバイル向けサービスの企画開発を手掛ける当社子会社の株式会社マップル・オンは、ロングセラーの登山地図『山と高原地図』をiPhoneアプリ化しました。

アプリ版の『山と高原地図』では、GPSを使って地図上で現在地を確認したり、山行のルートを記録したりするなど、アプリならではの便利な機能を実現しております。

記録したルートをメールでPCに転送すれば、登山記録の管理や登山仲間との記録の共有もでき、アイデア次第で活用方法は無限に広がります。

アプリ版のラインナップは、書籍版の『日本アルプス総図』を除く、全58点となっております。

※登山の際にはバッテリー切れに備え、紙の地図も必ず携帯してください。



『マップルナビS』のルート案内画面



新東名高速道路のルート案内にも対応



iPhone版の『山と高原地図』

● 大人のための新・海外ガイドブックシリーズ『トラベルデイズ』創刊

当社が平成24年7月に創刊した海外旅行ガイドブックシリーズ『トラベルデイズ』は、主に個人旅行を想定した、情報量豊富で知的好奇心を満たす本格派のガイドブックです。

旅本来の「見たい」「知りたい」という知的好奇心を満たすべく、主な歴史・文化的スポットは写真や図表を織り交ぜながら丁寧に解説しています。ひとつのエリアを多様なテーマで掘り下げているため、有名観光地でも新たな発見があります。豊富な情報量でありながら、旅先でも荷物にならないハンディタイプ。カバーを外せばまるで洋書のような外観で、大人向けのデザインとなっております。

『トラベルデイズ』は地図情報も充実しております。現地を徹底調査し、地図としての正確性を追求するとともに、本誌専用のデザインを施しました。行きたいスポットがすぐに探せる美しい地図も『トラベルデイズ』の魅力の一つです。

創刊ラインナップは『ソウル 釜山』『パリ』『イタリア』など10点、9月には『オーストラリア』『上海』の2点が出版され、点数は今後順次拡大する予定です。

● ガイドブックの情報をスマートフォンで持ち歩く『海外版マップルリンク』のサービス提供開始

当社商品のご購入者特典サービス『マップルリンク』*の海外版として、『海外版マップルリンク』が平成24年7月からサービス提供を開始しました。『海外版マップルリンク』は、7月創刊の海外ガイド『トラベルデイズ』に対応しております。

この『海外版マップルリンク』は『トラベルデイズ』の本誌地図をスマートフォンにそのまま表示します。スマートフォンのGPSと、ウィンカー機能（方向誘導機能）で目的地の方向が分かるようになり、現地での街歩きは驚くほど便利になります。

また、現地通貨への両替方法、病気・事故などのトラブル対策、現地の文化や習慣など、本誌に収録された旅行基本情報をスマートフォンで持ち出すこともできます。当サービスはダウンロード型であることから、旅行前にダウンロードしておけば、現地での通信料発生への心配はありません。

『トラベルデイズ』ともども、ご旅行にお役立てください。

※『トラベルデイズ 上海』には、当サービスは付きません。
※『マップルリンク』は無料サービスですが、一部機能では各通信会社の通信料が別途かかります。



『トラベルデイズ』の表紙



表紙のカバーを外せば洋書風



美しいデザインの地図



読み応えのある豊富な情報量

*マップルリンクとは

紙面で紹介されているスポット情報と付録地図がお手持ちのスマートフォン・携帯電話で無料でご利用いただける当社商品ご購入者への特典です。

国内向けガイドでは『ことりっぷ』『まっがるマガジン』でサービス提供中です。



『海外版マップルリンク』の操作画面

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	第53期	第54期第2四半期
	平成24年3月31日現在	平成24年9月30日現在
資産の部		
流動資産	16,070	14,328
固定資産	17,910	17,701
有形固定資産	9,350	9,292
無形固定資産	6,116	5,880
投資その他の資産	2,443	2,528
資産合計	33,981	32,029
負債の部		
流動負債	4,488	3,335
固定負債	1,026	1,088
負債合計	5,515	4,423
純資産の部		
株主資本	28,266	27,510
資本金	9,903	9,903
資本剰余金	10,708	10,708
利益剰余金	8,179	7,422
自己株式	△524	△524
その他の包括利益累計額	199	95
純資産合計	28,466	27,606
負債純資産合計	33,981	32,029

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表のポイント

流動資産

前期末に出版した商品の売上債権・たな卸資産の減少など、季節的変動を主な要因として流動資産合計は17億42百万円減少し、143億28百万円となりました。

固定資産

有形固定資産はサーバなどの設備投資があったものの、償却が進んだこともあり58百万円の減少となりました。

無形固定資産はソフトウェアの取得などによる増加があった一方で、データベースの償却があり2億36百万円の減少となりました。

固定資産合計は2億9百万円減少し、177億1百万円となりました。

負債

退職給付制度における前払年金費用の計上による繰延税金負債の増加はありましたが、借入金や支払手形及び買掛金の減少などによって10億91百万円減少し、44億23百万円となりました。

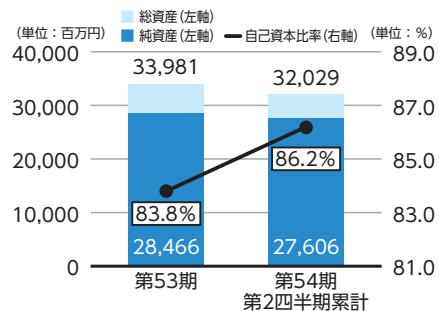
純資産

四半期純損失の計上などで純資産合計は8億60百万円減少し、276億6百万円となりました。

自己資本比率

前期末から負債の額が減少したことなどによって、自己資本比率は2.4ポイント増加し86.2%となりました。

総資産、純資産、自己資本比率



四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	第53期第2四半期累計	第54期第2四半期累計
	平成23年4月1日から平成23年9月30日まで	平成24年4月1日から平成24年9月30日まで
売上高	7,497	6,694
売上原価	4,916	4,902
返品調整引当金繰入差額	△101	△61
売上総利益	2,682	1,854
販売費及び一般管理費	2,143	2,223
営業利益又は営業損失 (△)	538	△368
営業外収益	31	53
営業外費用	27	18
経常利益又は経常損失 (△)	542	△333
特別利益	0	1
特別損失	20	3
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	521	△336
法人税等合計	△1	96
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	522	△432

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	第53期第2四半期累計	第54期第2四半期累計
	平成23年4月1日から平成23年9月30日まで	平成24年4月1日から平成24年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,656	412
投資活動によるキャッシュ・フロー	△233	△361
財務活動によるキャッシュ・フロー	△573	△554
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	849	△504
現金及び現金同等物の期首残高	7,874	8,662
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,724	8,158

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表の詳細は当社ホームページでご覧いただけます。
URL <http://www.maple.co.jp/corporate/ir/>

連結損益計算書のポイント

売上高

電子事業では当初想定どおりの実績を確保したものの、出版事業において地図商品の売上げの減少および返品の大幅な増加があり、前年同期に比べ10.7%減少の66億94百万円となりました。

営業損失

販売費及び一般管理費は当初想定よりも低く抑えましたが、減収の影響や前倒しで実施したメンテナンス費用の増加などによって3億68百万円の営業損失となりました。

経常損失

営業外損益に大きな計上額はなく、上記の営業損失を受けて3億33百万円の経常損失となりました。

四半期純損失

税効果会計の影響で法人税等合計が増加したため、最終的な四半期純損失は4億32百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

営業活動によるキャッシュ・フロー

収入は4億12百万円となりました。主な要因は税金等調整前四半期純損失の計上によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

支出は3億61百万円となりました。主な要因は無形固定資産の取得によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

支出は5億54百万円となりました。主な要因は配当金の支払いおよび借入金の返済によるものです。

株式情報 (平成24年9月30日現在)

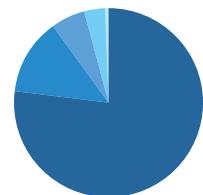
株式の状況

発行可能株式総数	57,000,000株
発行済株式の総数	17,307,750株
株主数	20,619名

大株主 (上位10名)

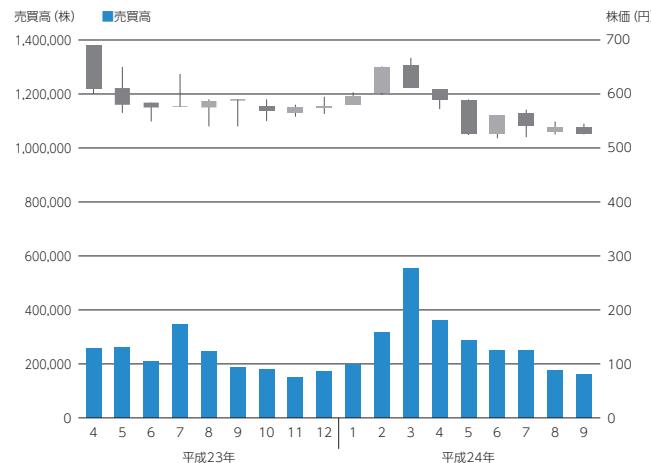
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
黒田 敏夫	3,574	20.65
黒田 茂夫	1,699	9.81
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	865	4.99
株式会社昭文社	679	3.92
昭文社社員持株会	610	3.52
株式会社三井住友銀行	347	2.00
CBNY-DFA INVESTMENT TRUST COMPANY- JAPANESE SMALL COMPANY SERIES	320	1.85
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	232	1.34
株式会社 ファウンダー・マップル	180	1.03
株式会社エムティーアイ	174	1.00

所有者別株式分布状況



所有者区分	持株比率 (%)
個人・その他・自己名義	77.1
金融機関	12.1
その他の法人	5.8
外国法人等	4.1
金融商品取引業者	0.9

株価と株式売買高の推移



会社情報 (平成24年9月30日現在)

会社概要

商号	株式会社昭文社 (Shobunsha Publications, Inc.)																				
創業	昭和35年5月																				
本社所在地	東京都千代田区麹町三丁目1番地																				
資本金	99億387万円																				
事業内容	SiMAPを中核とし、それを活用した地図・雑誌・ガイドブックの企画・制作及び出版販売を行う「出版事業」、ならびにデジタルデータベースの企画・制作・販売及びそれらを活用したサービスを提供する「電子事業」を展開																				
事業所	<table> <tr> <td>本社</td> <td>東京都千代田区</td> </tr> <tr> <td>大阪支社</td> <td>大阪市淀川区</td> </tr> <tr> <td>制作本部</td> <td>東京都江東区</td> </tr> <tr> <td>仙台営業所</td> <td>仙台市若林区</td> </tr> <tr> <td>横浜営業所</td> <td>横浜市西区</td> </tr> <tr> <td>名古屋営業所</td> <td>名古屋市千種区</td> </tr> <tr> <td>福岡営業所</td> <td>福岡市中央区</td> </tr> <tr> <td>東京商品センター</td> <td>東京都足立区</td> </tr> <tr> <td>大阪商品センター</td> <td>大阪府摂津市</td> </tr> <tr> <td>埼玉製本センター</td> <td>埼玉県加須市</td> </tr> </table>	本社	東京都千代田区	大阪支社	大阪市淀川区	制作本部	東京都江東区	仙台営業所	仙台市若林区	横浜営業所	横浜市西区	名古屋営業所	名古屋市千種区	福岡営業所	福岡市中央区	東京商品センター	東京都足立区	大阪商品センター	大阪府摂津市	埼玉製本センター	埼玉県加須市
本社	東京都千代田区																				
大阪支社	大阪市淀川区																				
制作本部	東京都江東区																				
仙台営業所	仙台市若林区																				
横浜営業所	横浜市西区																				
名古屋営業所	名古屋市千種区																				
福岡営業所	福岡市中央区																				
東京商品センター	東京都足立区																				
大阪商品センター	大阪府摂津市																				
埼玉製本センター	埼玉県加須市																				

● 出版物のご案内

『まっぷるマガジン 東京駅』



東京駅とその周辺のビル群は「東京ステーションシティ (Tokyo Station City)」と名付けられ、ここ数年の大規模施設の開業や平成24年10月には東京駅丸の内駅舎の復元工事が完成するなど、駅を超えたひとつの街として成長しつつあります。

『まっぷるマガジン 東京駅』では、話題の丸の内駅舎の詳細をはじめ、東京駅を図解で徹底解剖。東京駅を中心とした一大複合シティの魅力をあますことなく紹介しております。

東京に遊びに来られる方、首都圏在住の方、ビジネスパーソンに大いにご活用いただける一冊です。

『なるほど知図帳 日本の自然災害』



『なるほど知図帳 日本の自然災害』は地震・津波・台風など日本列島で起こりうる自然災害をテーマに、発生メカニズム、過去の事象、そして最新の災害予測と対策を地図や図表、写真を用いてビジュアルに解説した「災害に備える防災知識が正しく理解できる本」です。

本書では各災害の基礎知識と最新情報、そして災害対策を丁寧に分かりやすく解説。二大特典として、日本周辺で過去2年間に発生した地震の震源を明示した「日本地震震源地図」および大災害発生後も見据えた内容の「災害時のお役立ち BOOK」を収録し、「いざ」というときの対策を検討できる一冊となっております。

役員

代表取締役社長	黒田 茂夫
取締役	大野 真哉
取締役	内田 次郎
取締役	熊谷 隆司
取締役	清水 康史
常勤監査役	立川 喜久夫
監査役*	関 聡介
監査役*	桑野 雄一郎

*社外監査役

関係会社

キャンバスマップル株式会社
東京都千代田区
[事業内容]
ナビゲーション用地図ソフトウェアの開発・企画制作・販売
株式会社昭文社デジタルソリューション
千葉県市原市
[事業内容]
マッピング・Webサービス事業及びシステムソリューション事業
株式会社マップル・オン
東京都千代田区
[事業内容]
モバイル(携帯・スマートフォン)向けアプリケーションソフトの企画開発・販売及びWeb広告事業